

福岡県田川市において緊急地震速報防災講演会を実施しました

当協議会は、平成 26 年 6 月 22 日に福岡県田川市立鎮西小学校において、初めて賛助会員と連携した講演会を、(一財)気象業務支援センターとの共同事業として実施しました。

講演会は緊急地震速報利用者協議会、田川市、(一財)気象業務支援センターが主催し、福岡管区气象台、鎮西校区活性化協議会の後援により行われ、当協議会の赤星総合部会長の開催挨拶に続き、地元の伊加利区長の小島様からご挨拶をいただきました。

最初の講演では、福岡管区气象台の森博一地震情報官から緊急地震速報について、気象庁から発表される仕組み、速報の内容、発表の条件、速報の限界などについてお話いただきました。また、平成 26 年 3 月 14 日に伊予灘を震源とする地震が発生したときに、「福岡県筑豊地方」に初めて発表された緊急地震速報について具体的にお話があり、「緊急地震速報を見聞きした場合は、時間の猶予がないので、まず身の安全を守ることが最優先です。」と結ばれました。



山口大学大学院の瀧本浩一先生からは、「今から間に合う地震防災対策」と題して、防災とは何か。地震に備えるために具体的な多くの示唆がありました。自主防災の活性化、役員の負担が重くならないよう皆の意識を変えて、日常の中で災害への予防ができるようにとすることで、具体例を交えてお話いただきました。

例えば災害予防、応急対策、災害復旧の各ステージについて、毎年流行するインフルエンザ対策を例に分かりやすく話していただきました。また、各地域で普段行われる年中行事やイベント(地域清掃、運動会、見回り活動、餅つき等々)の際に防災に関することを取り入れて、常に意識の啓発を行うこと。自主防災組織が効果的に活動し、災害による被害を最小限に食い止めるためには、地域住民が防災に関する正しい知識を持っている必要であること。そのため様々な機会をとらえて、継続的に防災知識の普及・啓発に取り組むこと。地震災害はいつ起こるか不明であり、今日から、今できる所から予防対策をはじめることなど、たいへん分かりやすくお話いただきました。



田川市安全安心まちづくり課防災安全対策室を中心に、今回ご参加いただいた田川市鎮西校区の自主防災組織の皆様から市内全体へ、活発な自主防災へと発展していただければと思います。また当協議会としても、今後とも田川市と連携して、防災・減災につながるように取り組んでいきたいと考えております。